市民活動って
ええやん新聞
第34号
取材の裏側や載せ切れなかった情報を公開中！
ええやん新聞公式Instagram

ダイジェスト版
テーマ「自分らしく生きる」

1.　ええやんピープル
2.3. 自分らしく生きるために大切なこと
4.　新人記者突撃リポート 自分らしく輝くママたち
レシピ
2～4は本紙でご覧ください

みんなが主役！誰もが心豊かに暮らせるまち山口を目指して、はじめの一歩を応援する市民活動情報紙



ええやんピープル
誰かのために　何かのために　活動している人を紹介します

「ここにいる」を知らせる。それが私の役割

Vol.34
田中ゲイ企画代表・山口レインボープライド2026実行委員長
田中（たなか） 愛生（あいき）さん

1989年生まれ、東京都出身。高校卒業後スペインへ移住し、フランス留学・大学卒業を経て、山口市に移住。2019年に地域おこし協力隊として南部地域に着任。2022年3月にバー「田中ゲイ企画」をオープン。2022年ミスターゲイジャパングランプリ受賞。県内の学校や自治体等で「LGBTQ＋基本講座 全ての人が暮らしやすい社会」をテーマに講演を行う。

Photo/ 岡崎悠香

山口・湯田温泉で「田中ゲイ企画」を営む田中さん。フランス留学を経て、なぜ縁もゆかりもない山口市を選び、そして「ゲイ」であることを公に掲げて生きる決断をしたのか。その歩みと、多様な個性が共生する社会への思いを伺いました。

山口移住と、カミングアウトのわけ

フランス留学中に、帰国後は日本でビジネスをしたいと考え、地方に関心を持った時に「地域おこし協力隊」の存在を知りました。留学先のモンペリエは地中海性気候で、天気が良く本当に暮らしやすかった。生活する上で「天気の良さ」は重要だと実感したんです。それで、晴れの気候と言われる瀬戸内に惹かれ、山口市への移住を決めました。

実は、当初はゲイであることをカミングアウトするつもりはなかったんです。でも29歳で山口に来て独身だと、「結婚しないの？」と言われたり、お見合いの話をいただいたり。それに対してのらりくらりと嘘で返さなくちゃいけないのが、自分でも嫌でした。フランスや東京では感じなかったけれど、山口にはそういうことを気にする人が多いんだと体感し、「いつか言わないといけないんだな」という気持ちが少しずつ膨らんでいきました。

表に立つ覚悟と私の役割

地域おこし協力隊として活動をしている際、セクシャルマイノリティが「ないもの、存在しないもの」として扱われていると感じる場面がありました。本来はわざわ

ざ公言しなくても、誰もが「そういう人もいるよね」とうっすら感じ取れる社会が理想です。でも、気付いてもらうことが難しいのなら、「こういう人たちがいるんですよ」と知らせることから始めなきゃいけない。痛みを伴ってでも、最初に表立って声を上げることが自分の役割なのかなって。正直なところ、思いもしていなかったのですが、山口に来たからこそ覚悟が決まり、カミングアウトすることになりました。それでオープンしたのが「田中ゲイ企画」です。店名にストレートに単語を入れたのは、あなたたちの街にも私たちが存在しているんだと知ってほしかったから。実際、カミングアウトしたことで自分自身も楽になったし、自分を偽っていたら絶対に出会えなかった人たちとの縁も広がりましたね。あの時の決断が今に繋がっていると感じています。

「普通」って誰が決めるのか

昔は「ゲイは変だ」という風潮があったから、自分でも嫌で隠していました。でも19歳のスペイン留学で、おしゃれで素敵なゲイの友人がたくさんできて、イメージがガラッと変わったんです。そこでようやく自分を認めることができた。自分の苦手なところやマイノリティな部分を認めてあげることが、自信を持つための一歩になるんじゃないかな。

山口県でも2024年にパートナーシップ制度が始まりましたが、制度を作るだけでなく、社会の風潮が変わっていくことが大切。山口にもそういう人がいて、社会が少しずつ変わっているんだな、と「じんわり」理解されていくのが理想です。そもそも「普通」って難しいですよね。普通って、誰が決めるのか。人を簡単に否定することなく、お互いの違いを理解し尊重し合える関係が大事だと思います。

孤独を感じる人へ、そして大人たちへ

今、環境の中で「自分は普通じゃない」と悩んでいる子もいるかもしれません。でも少し視点を広げれば、数パーセントのマイノリティだって社会全体で見れば結構な数なんです。自分一人だけじゃないんだよ、と伝えたい。今は繋がり合える場所や団体もたくさんあります。まずは繋がりを持ってみてほしいです。

そして特に大人の方へ。私が18歳で受験に失敗したとき、両親が否定せずにスペイン行きを応援してくれたことが、人生の大きな分岐点になりました。大人は子どもを信頼してあげてほしい。否定しないことが子どもの自信に繋がるんです。社会にはいろんな人がいるんだと、もう一度外に目を向けてほしいなと思います。

レインボープライドとは

LGBTQ+などの性的マイノリティへの差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指して世界各地で行われているパレードやイベント。山口では2023年から開催されている。

https://yamaguchi-rainbow-pride.jimdofree.com/

本紙はこちらから

WEB版　ええやん新聞公式note

PDF版　ええやん新聞ホームページ

本紙を読んで答えを見つけてね♪

クイズに答えて瓦そばセットをもらおう

元祖瓦そば たかせ ごはん処りゅう庵

Q 海外から来た人が感じる壁は「言葉の壁」「制度の壁」と何の壁？

〇の壁

ハガキまたはメール、もしくは右のQRコードより以下を明記のうえ、さぽらんてまでご応募ください。

応募フォーム

1. お名前・郵便番号・ご住所・年齢・職業・電話番号
2. クイズの答え
3. ええやん新聞を手に入れた場所
4. ええやん新聞34号へのご意見、ご感想
5. 取り上げてほしいテーマ、市民活動団体

※ご記入いただいた個人情報は、その目的以外での利用はいたしません。

一人ひとりが自分らしく働ける環境づくりを行っている「元祖瓦そば たかせ ごはん処りゅう庵」様の瓦そばセットです。お家で作ってみてね！



家庭用瓦そばセット（2人前）

3名様

締切 2027年1月7日

※写真は調理イメージです。薬味や瓦はセットに含まれません。

当日消印有効。当選者には引換券を郵送させていただきます。

本紙『ええやん新聞』配布先および設置場所

配布…山口市小中学校、総合支援学校、特別支援学校など

配置…さぽらんて（バックナンバーあり）、山口市役所、各総合支所、各地域交流センター、各市立図書館、各保健センター、山口情報芸術センター、やまぐち県民活動支援センター、ほっとさろん中市「まちのえき」、各地域子育て支援拠点施設（子育てひろば）、やまぐち子育て総合福祉センター、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、維新ホールmegriba、山口市内マルキュウ・アルク店舗 など

発行元
山口市市民活動支援センター さぽらんて
〒753-0047 山口市道場門前 2-3-6 どうもんビル1階
TEL 083-901-1166　メール info@saporant.jp

LINEで さぽらんてからの お知らせを 配信中♪

次号もお楽しみに♡

